

# アレルギー Q & A 集

---

## Q1

小児がアレルギー検査を受けるに適した年齢はありますか(一般)

## A1

アレルギー検査を受けるタイミングは、アレルギーを疑う事象が発生した時です。年齢は特に関係はございません。

結果の解釈には年齢の要素を加味する必要がありますが、これはかかりつけの医師と相談いただきながら結果を解釈いただくとよいと思います。

なお、アレルギーを疑う事象が発生していない方のアレルギー検査は推奨されません。(2021/12/13)

---

## Q2

特定のものにアレルギーがある場合だけでなく、身体的に過敏に反応する体質ということで、いろいろなアレルギーが出ることもありますか？(一般)

## A2

体質的に過敏なために、種々の物質にアレルギー様の反応が生じることはあります。また、体質によっては皮膚や消化管、肺、鼻や眼といった複数の臓器にアレルギー様の症状が出ることもあります。(2021/12/13)

---

## Q3

ワクチンでアナフィラキシーを起こす人はアレルギーを持っている人と一般の人での確率の違いを知りたい。

また、何のアレルギーを持っている人が危険度が高いのか(医療従事者)

## A3

米国において、ファイザー社の新型コロナワクチン接種後に報告されたアナフィラキシーの 50 例(9,943,247 回中)において、80%にアレルギーの既往があり、24%にはアナフィラキシーの既往があったと報告されています。

また、武田/モデルナ社の新型コロナワクチン接種後に報告されたアナフィラキシーの 21 例(7,581,429 回中)では、86%にアレルギーの既往があり、24%にはアナフィラキシーの既往があったと報告されています(厚生労働省新型コロナワクチン Q&A)。

従いまして何らかのアレルギーがある人に mRNA ワクチンのアナフィラキシーが起こる確率が高くなる可能性があります。

アレルギーのない一般人との具体的な確率の違いや、どのような種類の、どの程度の重症度のアレルギーが特にアナフィラキシーとの関連が強いのかは、これまでのところ報告がありません。(2021/12/13)

---

## Q4

### コロナワクチンとアレルギーの関係

※どのような物にアレルギーを起こす人がなりやすいですか？メーカーによってアレルギー反応の対象者も変わるならばメーカーを選択すれば接種も可能では・・・1 回目ワクチンでアレルギー反応が合った人やアレルギーがあることで接種を迷っている人へのアドバイスやメッセージなど(医療従事者)

## A4

1回目のワクチンでアナフィラキシーを含む重度の過敏反応が認められた場合には、同一ワクチンの2回目の接種は不相当と考えられます。

特にポリエチレングリコール(PEG)あるいは PEG と交差反応性があるポリソルベートを含む薬剤に対して重度の過敏症をきたしていると判断できる場合には、モデルナ社の新型コロナウイルスワクチンも PEG を含有しており同様の対応となります。

アストラゼネカ社の新型コロナウイルスワクチンは PEG を含有していませんが、ポリソルベート 80 を含んでおり、やはり同様の対応となります。

また、不特定多数の医薬品(注射)でアナフィラキシーをきたした者、原因不明のアナフィラキシー(特発性アナフィラキシー)患者では、アナフィラキシーなどの重度の過敏症に対応できるような体制のもとで接種し、接種後の観察時間も 30 分以上とすることが必要です。

一方、喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎がある患者さんやワクチンや医薬品(注射)以外の特定の物質(食品、ペット、ハチ毒、環境(ハウスダスト、ダニ、カビ、花粉など)、ラテックスなど)に対するアレルギーがある人においては、mRNA ワクチンによるアナフィラキシーの発症リスクが接種を控えるほどに高いとは考えられませんが、できる限りアレルギー症状が安定した状況で接種することが望ましいと考えます。

特にコントロール不良喘息患者の場合には、万一アナフィラキシーをきたした場合に重症化するリスクがあるため、これらに対応できる医療機関での接種が望ましいです。(2021/12/13)

## Q5

抗アレルギーの内服薬は飲み始めたら飲み続けなければいけないのでしょうか？内服を中止する判断材料があればご指摘いただきたいです。(医療従事者)

## A5

抗アレルギー薬の中止について明確な基準はありません。慢性のアレルギー性鼻炎や蕁麻疹などのように、通年性に症状がある場合には、一年間以上の期間、症状消失がしているような場合には休薬を試みてもよいかもしれません。花粉症のように季節性のアレルギー疾患に使用する場合には、症状の出ない季節には休薬が可能です。(2021/1/13 更新)

---

## Q6

9歳の子供がハウスダストアレルギーです。毎日薬を服用していますが、根本治療は難しいでしょうか。舌下療法はハウスダストに効果があるのでしょうか。(一般)

## A6

ハウスダストは家の埃の様々な抗原を指すため、一概に答えにくいいため、主成分であるダニに限定してお話いたします。現在、ダニによる通年性鼻炎に限定して舌下免疫両方が可能です。舌下錠を舌の下に1分ほど保持していただく必要があります。舌下免疫療法で症状が軽減することが多いと存じますが、舌下免疫療法をやめると徐々にもとに戻ることも多いです。(2021/1/17)

---

## Q7

コンタミがある食材は、アレルギー給食として出すべきではないのか？(栄養士)

## A7

”コンタミ”とは contamination が由来の日本語で汚染している状態を示します。アレルギーの原因食物による汚染が期せずしておこるような食材はアレルギーの管理を行う上で混乱をするので、食材として使用するのとは避けたほうが望ましいと思われます。(2021/1/17)

---

## Q8

素人考えですが、小児は本来風邪をひいたりして強い身体になっていくと思っています。本来もつ免疫(抵抗力)で戦うのではなくワクチンを接種することが推奨されている感じがありますが、たとえ重症化のリスクが下がるといってど、ワクチンの安全に対するエビデンスがまだ完璧でない(私だけでしょうか)なかで、接種するのが正しいでしょうか(将来的ににワクチンによる悪影響がないか心配)。医療現場ではどのように感じていますでしょうか。(健康な小児の話です。重症化リスクの高い小児にとっては違う対応があることは認識しております。)(一般)

## A8

今回の COVID19 に対する、ワクチン接種の最大の目的は、感染した場合に致命的なリスクがある人(高齢者、担癌患者、免疫不全患者など)を守ることに尽きると思います。ご指摘のように、小児は成長過程で種々の病原体に触れて免疫系を発達させていくことが重要であり、また小児の場合には COVID19 を発症しても重症化のリスクは低いことが予測されますので、社会を守るための有効性に異論はありませんが、接種を受ける小児本人へのリスクベネフィットの評価は難しいと考えます。(2021/1/13)

---

## Q9

13 歳にもなってアレルギーが発症することは珍しいことだと思い、ご意見お聞かせください。(一般)

## A9

食物アレルギーは成人になってから発症することもあり、13 歳で発症することも珍しくはありません。エビのアレルギーの方がカニアレルギーを必ずしも発症するわけではありません。エビアレルギーだけのこともあります。まずはエビの摂取をやめて、かかりつけの医師にご相談ください。(2022/2/17)

---

## Q10

デュピクセントの注射の終了目安目安はどれくらいでしょうか。

終了後のケアは不要になるのでしょうか、ケアしなかった場合の再発はありますか？(医療従事者)

## A10

デュピクセントは、原則的には定期的な治療を継続することが望ましいです。ただし、半年以上治療をを行い十分に寛解が得られていば、投与期間の延長や中止が検討される場合もあります。デュピクセントを中止後、外用薬などによるケアまでやめてしまうと、やがては再発すると予測されます。  
(2022/2/17)

---

## Q11

2 か月前からくらいから夕方になると下着などで圧迫された部位や下肢に蕁麻疹がでます。皮膚科で処方された朝夕の内服薬で緩和されますが、朝飲み忘れただけでやはりまた蕁麻疹がでます。いつまで内服治療が必要なのが不安です。(教諭・学校関係者・児童支援員・保健師)

## A11

薬を飲まないとう麻疹がすぐに出てきてしまう場合には、まだ病気の勢いがおさまっていない状態です。2か月以上続く慢性麻疹では、4～6か月は内服を継続するのが望ましいです。薬を飲み忘れても麻疹があまり出なくなったら、少しずつ内服を減量できる可能性があります。長期内服による重大な副作用はほとんどないので、根気よく治療を続けてください。

(2022/2/17)

---

## Q12

食物アレルギーの参考になるサイトを教えていただきたい。

(教諭・学校関係者・児童支援員・保健師)

## A12

厚生労働省と一般社団法人日本アレルギー学会により、開設されたアレルギーポータルです。

[食物アレルギー | アレルギーポータル \(allergyportal.jp\)](https://allergyportal.jp)